

今後の交通問題

日本交通協会幹事 笠松慎太郎

最近鐵道省に於ては、全國に於ける自動車交通網を調査し時勢の進運に適合した交通系統を確立する爲め、新たに自動車交通網調査會なるものを設置し、交通に關する諸官省の主務者を網羅し、種々審議調査されることになった。又江木鐵相の聲明に依れば、從來政局の變移に伴つて兎角問題を起し勝ちであつた。私鐵許否問題を始め諸々の宿弊を一掃すると共に一切の情質を排除し最も公明正大なる處置を執ることである。又一面に於ては既に開業されてゐる各地方鐵道の經營方法に對しても努めて之を合理的に指導するといふのである。之は新時代の進運に伴つた適當な施設で誠に結構なことであると存する。

我が日本交通協會に於ては曩に理事會の決議を經、鐵道、軌道、道路等の各種交通機關は將來交通省の如き一つの官廳の下に統轄せらるゝ事を希望するのであるが現行官制の下に於ても行政上の聯絡協調を一層緊密にし、殊に高速度交通機關に對する現行法規の缺陷を補正し企業者への免許、其他の手續を簡單適切にして、各種交通機關の發達を促進したいといふ建議案をそれぞれ關係官廳に提出したのであるが右建議案實行の一手段としては

一 従來兎角不備勝デアツタ專用自動車道及地下鐵道ニ開スル特別法ヲ制定スルコト

二 新ニ交通會議ヲ興シ廣ク斯界ノ學者、經驗家ヲ網羅シ

鐵道敷設法ノ改廢、地方鐵道軌道ノ買收又ハ補償並ニ前項法令ノ制定ハ勿論、鐵道軌道道路殊ニ產業道路、專用自動車道等各種交通網ノ決定ニ付テモ交通會議ニ諮問シ其決議ヲ經ルコト

三 政府カ鐵道ノ建設ヲ爲シ又ハ地方鐵道及軌道ノ許可ヲ爲ス場合ニ於テハ專用自動車道トノ優劣ヲ比較研究シタル後、其決定ヲナスコト

地方鐵道又ハ軌道トシテ許可ヲ爲シタル場合ニ於テモ地勢又ハ交通ノ狀況ニ依リ一時專用自動車道トシテ營業ヲ爲シ得ル様法令ノ改正ヲナスコト

といふ意味の事を書き加へておいたのであるが、右等の各項は今後次第に前述の如き諮問機關に於て充分審議せらるゝことゝ思ふ。唯だ自分としては此頃發表された調査機關の組織が單に諸官廳の主務者のみを以つて之に充て民間の學者及び経験家を一人も差加へなかつたことが、些か物足りない様な感じがするのである。何となれば諸官廳に於ける當事者は近時兎角頻繁なる政局の移動に伴つて局長の如

き、課長の如き同一の擔當事務に對し責任をもち趣味をもつて、五年、六年、十年を終始一貫せらるゝ事が極めて稀である。之れは現行制度の上に於て致方のないことであるから寧ろ此交通會議の如きは將來廣く斯界の學者及び経験家を民間よりも參加せしめ各自の立場立場から公平無私に討究させる方が一層有効で適切な結果を見ることになるではなからうか。

聞く處に依れば自動車の交通網は全國に涉つて、九四六〇〇哩あつて此の中中國有鐵道が既に鐵道建設の工事に着手したものと重複してゐる路線が一八四七哩又敷設豫定線と重複したものが、二六〇〇哩、地方鐵道の既設線と重複したもののが四八〇哩、其他五〇五九哩で合計四九、六〇〇哩の延長のやうである、而して其の營業路線は一九〇線であるといふことである。

思ふに陸上に於ける交通機關の監督權が鐵道省に移管せられて以來、特に監督局に陸運課を創設し銳意之等の調查研究に努められてゐることは寔に結構なことであるが、一

面に於ては全國各方面に官私鐵道が縦横に錯綜して居るのみならず其投資額に於ては國有鐵道に約三十億其他私設鐵道に十億の巨額を示して居る現状である、況んや今日も尙民間の各方面より新しく鐵道の敷設を出願するものは年々其の累計幾百を數へるといふ有様で一見甚だ喜ぶべき現象の如くであるが其の内容に至つては甚だ如何がはしいものが澤山あつて或は権利株の賣買となり、或は一部政治家の私利壟斷となり、延ては國家の經濟及び一般社會の風教上に由々敷き障害を來して居るといふ事は返すがへすも歎かはしい次第である。

其他此頃主として内務省で調査されてるる産業道路建設に關する経費總額を見るに昭和二年度に於て九二七萬一二二圓同四年度四〇八八萬四五六七圓で合計五〇一六萬一六七九圓の多額に上つてゐる。而して政府は之に對し年々消費生産の總額、人口、面積、比率等に依り最も精密なる

調査を遂げ適當に施設案配すべきものであると思ふが斯様な事も相成るべくは今後前申し述べた通り官民合同の權威ある交通會議に諮問して最も公正適當なる立案及處分をしたいものと思ふ。頃來人一人の裁判さへ陪審法の設けが一つて廣く民間の聲を重用案配するのであるから苟も國家社會の最大要義である此交通問題如きは何時迄も之を官廳一部の人々に專任すべき筋合のものではなからうと思ふのである。

右の外時代の進歩に伴つて地下鐵道や航空輸送等の如き新しい施設も年々増加して來るのであるが之等についても決して一時的の假處分や偏狹なる一部の政見などに依て終始すべきものではない。之は將來地下は地下、航空は航空だけの問題でなくして、今後鐵道軌道高架鐵道普通道路其外港灣河川などを互に相聯絡して適當なる協調施設を遂げ資本の濫費や無駄な營業競争などを以て遂に其倒れの悲運に遭ふ様な事は大いに慎しまねばなるまいと思ふのである。

吾等は一度地圖を開いて顧一顧せん乎、我國の地勢は大

體に東北より西南に細長く伸びて居て其中央には各地方共一帶の脊梁山脈が縱に走つてゐる此の脊梁山脈より海岸地方に至る距離は大體何れでも僅か二、三十里位の短距離であるから今後國を縦貫する主なる路線は之を鐵道の領分とし山地及高地より低地に至る路線は主として之を自動車の領分として自動車線を以つて幹線鐵道の營養線に充てると同時に海岸及河川地方に至る大體の聯絡に當らせるといふ方法が我邦としては今後執るべき大體の政策ではなからうか、其他航空輸送は速力に於て最も優秀なる地位を占むるものであるが、其費用及輸送量の點に於て未だく理想的な交通機關とは申されない、又其の收支勘定より見ても割に合はぬのだから至急を要する旅客及貨物以外當分は主として郵便の輸送を以つて之に充てることとし、遞信省に於ても此事について相當な保護を與へられることが適當であると思ふのである。

此の他近時東京、大阪の如きに於て頻りに考究されてゐる地下鐵道の如きは人口の激増都市の膨脹などの點よりし

て出来るだけ之を急速に實施し往來の安全及び時間の節約を圖らねばなるまい。

近時自動車急激の發達は誠に慶賀すべき事であるが、只路面の施設に伴はぬ激増は却つて交通の危險や時間の不經濟を招來する傾向が著しい様である。現にニューヨーク市のビチネスセクションでは自動車に乗るより歩いた方が余程早いと云ふことである。我が東京市に於ては最近圓タクの激増と共に、銀座通りの如き、丸ノ内の如き交通上著しく危険を感じて來たのみならず各種交通機關の聯絡統制を欠く結果は種々なる不便不利を眼のあたり頻々目撃することが出来るのである。折角坪四十圓も、五十圓もかけてこしらへた歩道を堀つては埋め堀つては埋めしてゐる有様など、全く其交通施設の不統一を雄辯に物語るものである。這般東京市長が畏れ多くも、聖上陛下の御下間に對し甚だ恐懼されたことなど誠に遺憾なる實例であつたと申さねばなるまい。

兎も角も今後の交通問題は單なる一省一局にのみ局限さ

れた研究施設を以て満足せず願はくば海陸空の總てを綜合して官民一致以つて之を大所高處より聯絡統制し得べき適當なる組織とする事が極めて必要な事であると思ふ。されば我が日本交通協會は豫てより内外に聲明してゐる通り交通界の學者といはず經驗家と云はず全國に於ける官民斯界の權威者を網羅して居るのみならず將來は交通省の如き同一官廳の下に各種交通機關の總てが統轄せられることを切

望すると共に現行官制の下に於ても尙一層官民相互間の聯絡協調を緊密にするやう、會長理事を初めとして何れも專心努力を累ねて居られる次第である。

以上は甚だ抽象的事のみを申述べたのであるが幾分なりとも斯界大方の御同意を得ることが出来るならば誠に本懐の次第である。(終)

共同管溝の法的考察

土木事務官 田 中 好

を如何様に措置するかは、隨分古くから論究されてゐる問題である、固より道路は公衆交通の用に供せらるゝ設備であるから之が管理維持に關しては此交通の目的以外に出するの必要がないやうであるが、道路の管理權は交通の用に

街路工事を執行する等の場合に於て、街路地下に埋設されてゐる工作物若は將來埋設 れむとする所謂地下工作物